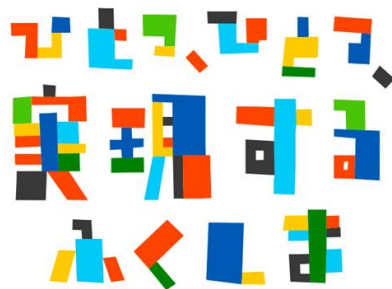


# 福島県がん対策推進計画（第四期） 【概要版】

（2024年度～2029年度）



令和6年3月  
福島県保健福祉部

## 計画改定の趣旨

- 本計画は、県民、医療等関係団体、県や市町村等が一体となり、がん予防から終末期ケアまでの総合的がん対策を推進するための計画です。
- 国の第三期がん対策推進基本計画や、本県のがんを取り巻く現状、第三期計画の達成状況を踏まえて見直しを行いました。
- 計画期間は令和6(2024)年度から11(2029)年度の6か年です。

## がんを取り巻く現状

- **がんは、昭和59(1984)年から本県の死因の第1位**
- **福島県のがんによる死亡数**（令和3(2021)年）年間6,367人死亡（男性3,799人、女性2,568人）  
がんは原因別死亡の24.9%を占める
- **福島県のがんの死亡率**（人口10万対）353.9（令和3(2021)年）年々上昇している
- **福島県のがん年齢調整死亡率(75才未満)**（人口10万対）（令和2(2020)年）  
全国と同様に減少傾向だが、全国平均を上回っている  
男女73.4(全国69.6)  
男性90.8(全国85.6)、女性58.0(全国54.9)
- **全国のがんの部位別死亡割合[上位3部位]**（令和3(2021)年）  
男性：①肺(22.4%) ②大腸(13.9%) ③胃(12.8%)  
※平成27(2015)年では①肺、②大腸、③胃  
女性：①大腸(15.6%) ②肺(14.9%) ③膵臓(11.6%)  
※平成27(2015)年では①大腸、②肺、③胃
- **福島県のがんの年間罹患数**  
[地域がん登録(令和元(2019)年)]  
男女：15,862人 男性：9,224人 女性：6,638人  
部位別罹患割合 [上位3部位]  
①胃(16.1%) ②大腸(15.8%) ③肺(12.1%)

図1 福島県の主な死因別死亡率(人口10万対)の年次推移

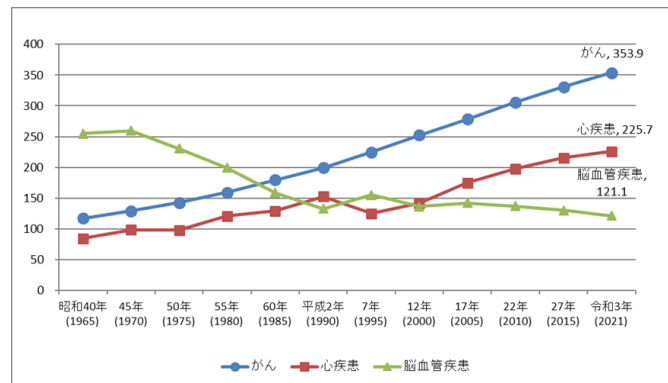


図2 がん年齢調整死亡率[75歳未満](人口10万対)の年次推移

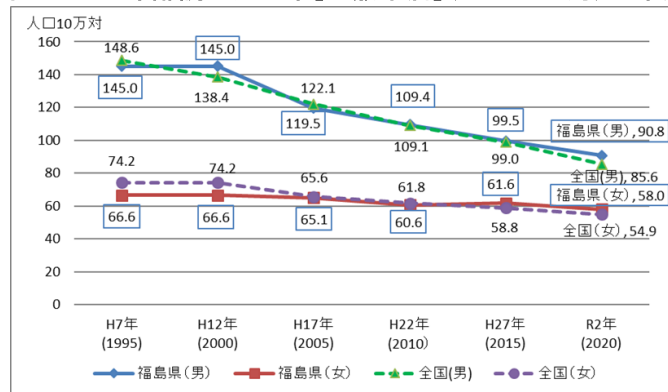
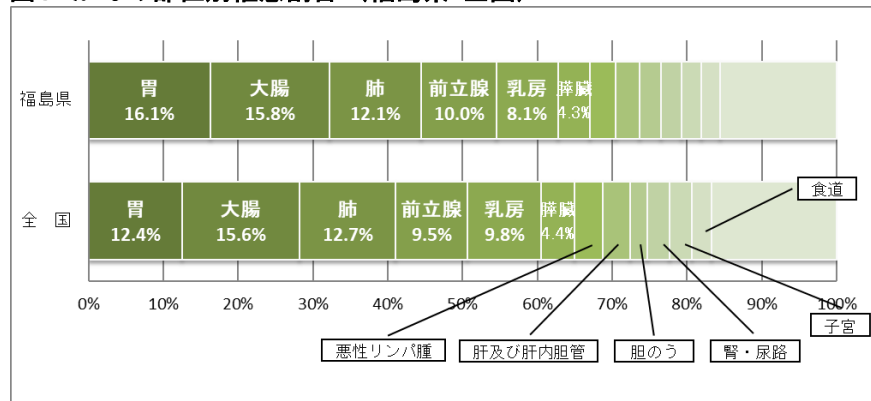


図3 がんの部位別罹患割合(福島県・全国)



資料 福島県数値：2013年全国がん罹患モニタリング集計(国立がん研究センター)  
全国値：2013年全国がん罹患モニタリング集計(国立がん研究センター)

1 がん患者を含めた県民の視点に立ったがん対策の実施

医療技術等の進歩・拡充に加えて、がん患者の体験を生かした「がん患者を含めた県民の視点」に立った施策を実施します。

2 本県における重点課題等に応じた総合的かつ計画的ながん対策の実施

がん対策は、がん発症予防から終末期ケアまでの多岐に渡る分野の取組を総合的かつ計画的に実施するため、必要性や効果の高いと考えられる取組に重点を置いた施策を実施します。

3 目標とその達成時期の考え方

これまでのがん対策に関する目標との整合性を図りつつ、全体目標とそれを達成するために必要な具体的な取組の個別目標を設定します。

4 東日本大震災の影響に配慮したがん対策の実施

東日本大震災及び原子力災害に伴い、生活環境や生活習慣が変化したことなどにより、健康指標の更なる悪化や、がんを含む生活習慣病発症のリスクが増大するなど、県民の健康状態の悪化が課題となっているため、県民の健康づくりを支援する上で重要な検診の受診環境の体制整備や健康不安解消など震災の影響に配慮した対策を実施します。

5 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策の推進

感染症発生・まん延時や災害時の状況下においても必要ながん検診及びがん医療を提供できるよう、人材育成や応援態勢の構築など、地域の実情に応じた連携体制を整備する取組を平時から推進します。

全体目標

がんを知り、がんを予防し、がんになっても尊厳を保ち自分らしく安心して生きることのできる社会の実現

科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実  
～がんを知り、がんを予防する～

患者本位のがん医療の実現  
～適切な医療を受けられる体制を充実させる～

尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築  
～がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する～

目標値	現状(値)(R3(2021年))	目標(値)(R12(2030年))
がんの年齢調整死亡率を減少させる(全がん・男女計・75歳未満)	74.1(人口10万対)	57.67(人口10万対)

## 1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

- (1) がんの1次予防
- (2) がんの2次予防(がん検診)



## 2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供

- (1) 手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法の推進
- (2) がんゲノム医療
- (3) がんの医療の提供体制
- (4) がん患者とその家族のQOLの維持向上
- (5) 希少がん、難治性がん対策
- (6) 小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん対策
- (7) 病理診断
- (8) がん登録
- (9) 医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組



## 3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- (1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- (2) 相談支援、情報提供
- (3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5) ライフステージに応じた支援



## 4. これらを支える基盤の整備

全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進

人材育成の強化

がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

がん登録の利活用の推進

デジタル化の推進

がん対策を実効性あるものとするために、重点的に取り組む施策を次のとおりとします。

### 1 がんの1次予防及び2次予防（がん検診）の推進

- 喫煙をはじめとする生活習慣が健康に及ぼす影響等、がんの予防に関する正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、がん検診の受診率の向上及び質の向上を図ります。

### 2 がんの手術療法、放射線療法、薬物療法及び免疫療法の推進

- 医療技術水準の地域間の格差を解消し、どの地域においてもがん患者が望む医療を安心して受けられるようにするために、手術療法や放射線療法及び薬物療法、科学的根拠を有する免疫療法を効果的に組み合わせた集学的治療の提供体制の整備を進めます。
- 医療従事者が、安心かつ安全で質の高いがん医療を提供できるよう、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を推進していきます。

### 3 緩和ケアの充実

- 質の高い緩和ケアを実施していくため、緩和ケアに関する専門的な知識や技能を有する医師や看護師等の医療従事者の育成を進めます。
- がん患者が住み慣れた家庭や地域での療養や生活を選択できるよう、在宅緩和ケアを含めた在宅医療・介護を提供していくための体制の充実を図ります。

### 4 ライフステージに応じたがん対策の充実

- 小児については、医療機関や療育・教育環境の整備、相談支援や情報提供の充実などが求められており、小児がん対策についても充実を図ることが必要です。
- 個々のAYA世代（思春期世代と若年成人世代）のがん患者の状況に応じた多様なニーズに対応できるよう、情報提供、支援体制及び診療体制の整備を推進します。
- 働く世代へのがん対策を充実させ、がんをなるべく早期に発見するとともに、がん患者等が適切な医療や支援により社会とのつながりを維持し、生きる意欲を持ち続けられるような社会づくりを目指します。

### 5 医療従事者の育成

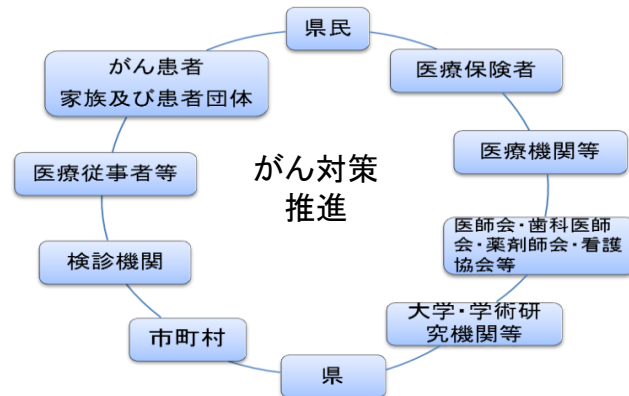
- 医療従事者と協力してがん医療を支えることができるがん医療に関する基礎的な知識や技能を有した医療従事者を養成していく環境の整備が必要です。
- 薬剤師、診療放射線技師、看護師等専門的な知識・技能を有した医療従事者の育成により、医師及び医療従事者が一体となって効果的な治療にあたる体制を構築していきます。

## 1 計画の推進体制

国の基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、がん患者・家族及び患者団体を含む県民、市町村、医療保険者、医療機関・医療従事者、大学・学術研究機関、医師会等の関係者及び県が各々の立場からの役割を果たすとともに、相互の連携を強化することにより、一体となったがん対策を推進します。

## 2 計画推進にかかる関係者の役割

本県が一体となってがん対策を推進していくために、求められる役割は次のとおりです。



### 県民

喫煙、飲酒、食事、運動、その他の生活習慣が健康に及ぼす影響等、がんの予防に関する正しい知識の習得と生活習慣の改善に努め、積極的にがん検診を受診すること。

### 地域全体

喫煙、飲酒、食事、運動その他の生活習慣が健康に及ぼす影響等、がんの予防に関する正しい知識の普及や、がん患者・家族及び患者団体等に対する支援を行うこと。

### がん患者・家族及び患者団体等

推進計画の策定に関与するとともに、医療従事者との情報の共有により相互信頼関係の構築を図り、行政機関等が実施する、がん医療体制整備や評価のための議論への参加・助言を行い、治験及び臨床研究の意義を理解し参加すること。

### 医療保険者

労働関係者等と連携し、従業員等の生活習慣の改善及びがん検診の受診等、がん予防行動を実践するための積極的な支援・協力を行うこと。

### 大学・学術研究機関、医師会等

がん専門医療従事者の育成や緩和ケアを体系化した教育・研修等を行い、医療技術等水準の向上を図ること。

### 県

本県のがん対策の総合的かつ計画的な推進に努め、関連機関等の連携交流を強化するための調整を行うとともに、関連機関等に対する専門的・技術的な支援を行うこと。

### 市町村

住民が生活習慣の改善によるがんの予防及び質の高いがん検診の受診等、がん予防行動を実践するための積極的な支援・協力を行うこと。

### 検診機関

質の高い検診等を提供できるよう、精度管理の向上や効果的な検診手法の導入に努めるとともに、がんに関する知識の普及、検診受診率向上及びがん予防のための啓発を行う。県民の受診機会の拡大など、検診を受診しやすい環境づくりに向けた支援、協力を行うこと。

### 医療機関等

がん患者の置かれている状況を深く認識し、自ら又は連携し良質かつ適切な医療等を提供するとともに、がん患者及びその家族のがんに対する不安や疑問の解消に向けた適切な対応をとるための環境整備を行うこと。

### 医療従事者等

がん患者の置かれている状況を深く認識し、自ら適切にがん医療等に関する知識・技術を習得し提供するとともに、がん患者及びその家族のがんに対する不安や疑問の解消に向けた適切な対応を行うこと。

## 3 進行管理及び評価

- 本計画の個別施策及び全体目標の達成状況を把握し、進行管理を行う
- 福島県がん対策推進協議会に諮りながらがん対策の効果に関する評価を行う

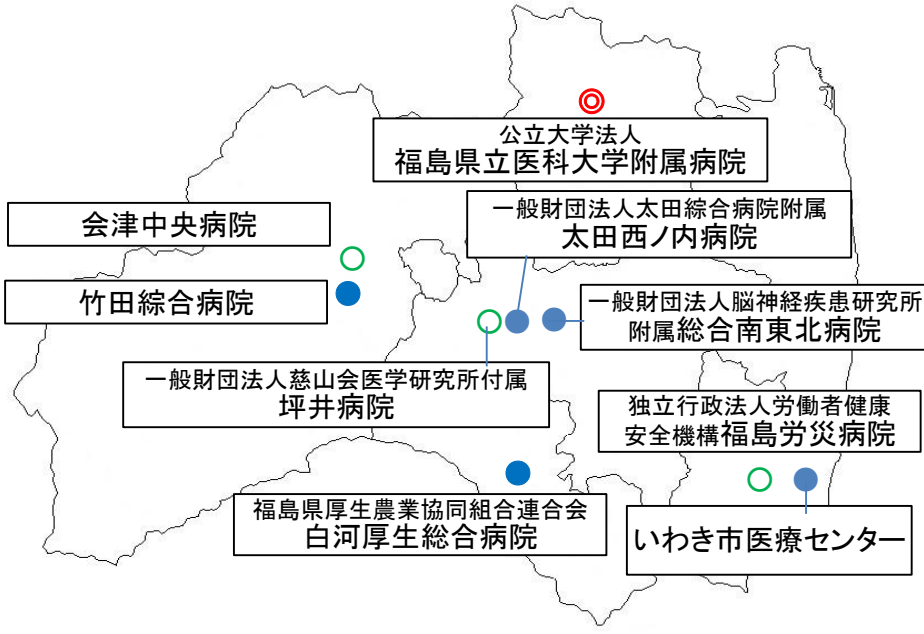
# 1.科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

分野	取り組むべき主な施策	主な個別目標	現状値	目標値(2029年度)	
(1) がんの 一次予防	[喫煙] 喫煙者の減少に向けた取組の推進 ○がん予防に関する普及啓発 ○喫煙者に対する禁煙支援の推進 ○受動喫煙対策の徹底 ○健康教育及び喫煙防止教育の推進 受動喫煙防止対策の推進 ○受動喫煙対策の普及啓発の推進 ○喫煙率の低下及び受動喫煙の防止に向けた社会環境の整備	成人の喫煙率を減少させる	全体:21.4%,男性:33.2% 女性:10.5%(R4年)	全体:12% 男性:19% 女性:5.4%	
		喫煙者のいない世帯の割合を増加させる	参考:69.4%(R4年)	70%	
		妊娠中の喫煙をなくすこと	—	0%	
	[飲酒] ○飲酒に伴うリスクや依存症に関する知識の普及 ○未成年者や妊産婦の飲酒の影響の普及啓発	生活習慣病のリスクの高める量を飲酒している者の割合(1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の減少)	男性 19.6%, 女性 6.7% (R4年)	男性 11.0% 女性 5.0%	
		[栄養・食生活] ○食環境の整備 ○栄養・食生活に関する正しい知識の普及傾圧 ○食生活改善推進員の育成及び支援 ○職域における健康づくりの推進 ○栄養表示基準制度の徹底と活用の普及啓発	成人1日あたりの食塩摂取量を減少させる	男性11.9g, 女性9.9g(H28年)	男性 7.5g以下 女性 6.5g以下
			成人1日あたりの野菜摂取量を増加させる	男性347g女性314g(H28年)	男女とも350g以上
		メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少	31.9%(R4年)	21.0%	
[身体活動] ○健康づくりに効果的な普及啓発の推進 ○身体活動や運動促進のための情報発信 ○県民の運動習慣の定着と拡大のための環境整備の推進	運動習慣のある者の割合を増加させる	男性 23.1%, 女性 15.2% (R4年)	男性 30.0%, 女性 20.0%		
[感染症対策] ○子宮頸がんの予防のためのHPVワクチンの理解促進 ○肝炎ウイルス検査の受験機会の拡大及び受診の促進 ○肝炎医療の推進 ○肝疾患診療連携体制を推進 ○ヘリコバクター・ピロリへの対応 ○ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策	がんの原因となる感染症の予防及び治療を推進する。				
(2) がんの 2次予防	[受診率向上対策について] ○がん検診の重要性の普及啓発 ○市町村のがん検診受診率向上 ○職域におけるがん検診の普及啓発	市町村対策型がん検診受診率を向上させる	胃34.1%、肺32.8% 大腸30.3%、乳48.4% 子宮頸部46.2% (70歳未満 R4年度)	5つのがん全て60%以上	
	[がん検診の精度管理等について] ○がん検診の精度管理の充実	要精密検査者の精密検査受診率を向上	胃84.8%、肺83.4% 大腸75.3%、乳87.9% 子宮頸部88.5%(H27年度)	5つのがん全て100%	

# 2.患者本位で持続可能ながん医療の実現

分野	取り組むべき主な施策	主な個別目標	現状値	目標値(2029年度)
(1)がん医療提供体制等	[医療提供体制の均てん化・集約化] ○ がん診療連携体制の構築を進める ○ 福島県立医科大学に臨床検査技師の養成課程の設置による細胞診検査を学ぶ環境整備を進め、細胞検査士の資格取得を促進するとともに、高度な知識及び技術を備えた人材を輩出する環境整備を図る  [がんゲノム医療※ <sup>1</sup> ] ○ 必要な患者が適切なタイミングでがん遺伝子パネル検査等の結果を踏まえた治療を受けられるように検討 ○ 近隣県のがんゲノム医療連携病院と県内のがんゲノム連携病院との連携を図り、がんゲノム医療を受けられる体制整備 ※がん細胞の遺伝子を網羅的に調べ、その結果をもとにして、より効率的・効果的に病気の診断と治療を行う医療  [手術療法、放射線療法、薬物療法] ○ がん診療施設が、がん治療を行うために必要な医療機器等の設備整備支援を実施 ○ がん手術、放射線療法、薬物療法、免疫療法を行う医師が協力し治療に当たる体制の構築 ○ 歯科医療機関による、がんと口腔管理の関連性を踏まえた処置及び口腔衛生指導を実施  [チーム医療の推進] ○ 医療従事者間の多職種連携の促進 ○ がん患者の病態に応じた適切ながん治療のため、ICTを活用した医療連携体制構築を支援 ○ 一人ひとりの患者に必要な治療やケアについて、専門的な立場から議論がなされたうえで患者が必要とする連携体制の環境整備  [がんのリハビリテーション] ○ がんのリハビリテーションに対応できる人材育成や医療提供体制を引き続き検討  [支持療法※ <sup>2</sup> の推進] ○ 患者視点の評価も重視した支持療法の提供体制について検討 ※がんそのものによる症状やがん治療に伴う副作用・合併症・後遺症による症状を軽減させるための予防、治療及びケアのこと	がん診断・治療全体の総合評価(平均点または評価が高い割合)	8.4点 (H30年) (患者体験調査の都道府県別結果より)	8.5点
		治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な評価を得られた患者の割合	72.1% (H30年) (患者体験調査の都道府県別結果より)	80%

## 福島県のがん診療連携拠点病院(令和6年3月時点)

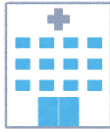


- ◎ 都道府県がん診療連携拠点病院: 県の中核として高度ながん医療を提供
- 地域がん診療連携拠点病院: 地域の中心として専門的な医療を提供
- 地域がん診療連携推進病院: 地域の中心として専門的な医療を提供 (福島県の独自指定)



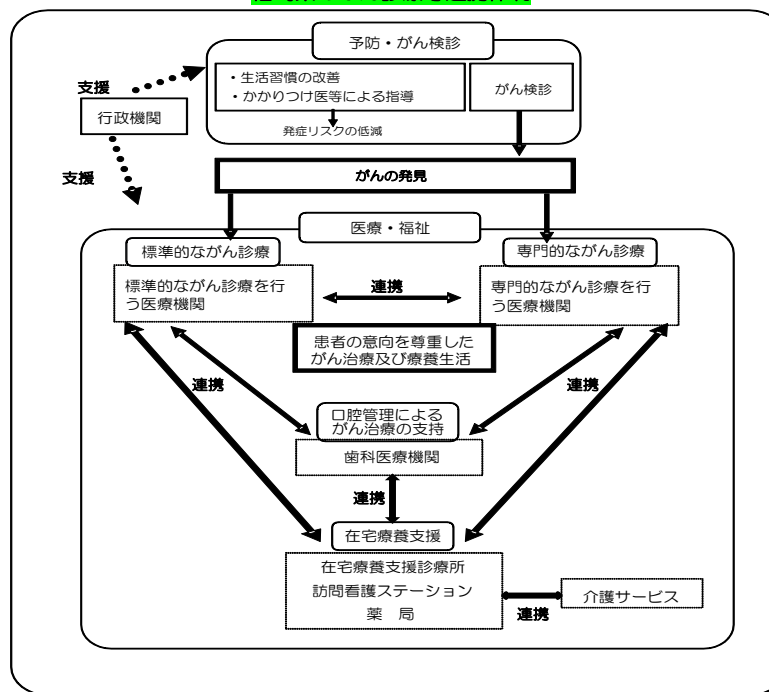


# 2.患者本位のがん医療の実現

分野	取り組むべき主な施策
<p>(1)がん医療提供体制等</p>	<p>[診断された時からの緩和ケアの推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん診療連携拠点病院等と連携し緩和ケア研修会実施</li> <li>○ 緩和ケア病棟のない医療圏も含めて、拠点病院、緩和ケアチーム、在宅療養支援診療所等による地域連携を推進</li> <li>○ 緩和ケア病床の充実</li> <li>○ 医療用麻薬に関する適切な啓発と医薬品の適正使用</li> </ul> <p>[妊孕性温存療法]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん・生殖医療の提供を推進するため、情報提供や意思決定支援が個々の患者の状態に応じて適切に行われるよう、地域がん・生殖医療ネットワークの構築を推進</li> <li>○ 医療者・患者・県民への妊孕性温存療法に関する啓発活動や人材育成の取組を支援</li> </ul>
<p>(2)希少がん及び難治性がん対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国の「希少がん対策ワーキンググループ」等の議論等の動向を注視し、県内での医療提供体制のあり方を検討</li> </ul>
<p>(3)小児がん、AYA世代のがん(思春期世代と若年成人世代)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 緩和ケアを含む集学的医療の提供</li> <li>○ 小児がんに関わる医師等に対する研修の実施</li> <li>○ 治療による晩期合併症等に対応できる長期フォローアップ体制の支援</li> <li>○ 教育環境を整えるための支援等の小児がん医療体制の強化・連携についての取組を横断的に推進</li> <li>○ 小児慢性特定疾病対策事業により医療費の自己負担分を補助し医療費の負担軽減</li> <li>○ 療養生活に関する相談支援と家族同士が情報交換や交流できる機会の提供</li> <li>○ 将来の自立に向けて継続した支援体制の整備</li> </ul>
<p>(4)高齢者のがん対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 患者に提供すべき医療のあり方について、生活の質(QOL)の観点を含めた高齢者のがん患者に適した治療法の確立など、国が策定する高齢者のがん診療に関する診療ガイドラインに基づき、高齢者がん患者に対する医療提供体制のあり方について検討</li> </ul>
<p>(5)新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装</p>	<p>福島県立医科大学に整備した「医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター(TRセンター)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん治療等に対する医薬品の創出に貢献する研究</li> <li>○ がんを中心とした諸疾患の新規治療薬・診断薬・検査試薬や医療機器などの開発支援を多面的に行うための拠点の形成</li> <li>○ 国の動向を踏まえ、新規医薬品、医療機器及び医療技術の医療実装のあり方を検討</li> </ul>



# 3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築




分野	取り組むべき主な施策	主な個別目標	現状値	目標値(2029年度)
<p>(1) 相談及び情報提供</p>	<p>[相談支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相談支援センターや機能などがんにに関する情報の周知</li> <li>○ 相談支援センターの人材の適切な配置や相談支援に携わる者に対する研修機会の確保</li> <li>○ ピア・サポーターの養成等及び医療機関との連携強化</li> </ul> <p>[情報提供]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 患者や家族が正しい情報を入手し、適切な選択ができるよう、がん診療連携拠点病院と連携しながら情報提供を図る</li> <li>○ がんにに関する情報を掲載したパンフレット(がん患者・家族のための福島県サポートブック)等について、がん診療連携拠点病院やがん診療医療機関などに周知</li> <li>○ 治療法の選択等に関する助言(セカンドオピニオン)を受けられる体制の整備</li> </ul>	<p>がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合</p>	<p>73.1% (H30年) (患者体験調査の都道府県別結果より)</p>	<p>80%</p> 
<p>(2) 社会連携に基づくがん対策・患者支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地域の特性を踏まえ、在宅医療を実施できる体制を整備の働きかけと支援</li> <li>○ 介護保険適用されない世代(AYA世代)のがん患者の在宅生活の支援</li> <li>○ アドバンス・ケア・プランニング※3を含む患者ケアができる医療従事者を育成</li> <li>○ 在宅療養患者の終末期ケアを提供できる人材養成</li> <li>○ がん患者とその家族を支援する在宅緩和ケアボランティアの育成</li> <li>○ 薬局における無菌調剤室の整備を支援し、その共同利用により、在宅での緩和ケア等の体制を強化</li> <li>○ 患者の周術期等の口腔管理や退院時における歯科診療所等の紹介を行う取組を支援</li> <li>○ 介護支援専門員に対し、経験期間に応じた現任研修を実施</li> <li>○ がん患者の要介護(要支援)認定と介護サービスの利用が迅速に行われるようにするため、研修会の開催や市町村に技術的助言を行う等の支援</li> </ul> <p>※3: アドバンス・ケア・プランニングとは、今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者が予め話し合う自発的なプロセス</p> 	<p style="text-align: center;"><b>福島県のがん診療等連携体制</b></p>  <pre> graph TD     A[予防・がん検診] --&gt; B[がんの発見]     B --&gt; C[標準的ながん診療]     B --&gt; D[専門的ながん診療]     C &lt;--&gt; D     C --&gt; E[在宅療養支援]     D --&gt; E     E --&gt; F[在宅療養支援診療所 訪問看護ステーション 薬局]     F --&gt; G[介護サービス]     H[行政機関] -.-&gt; A     I[行政機関] -.-&gt; B     J[標準的ながん診療を行う医療機関]     K[専門的ながん診療を行う医療機関]     L[口腔管理によるがん治療の支持]     M[歯科医療機関]     N[在宅療養支援]     O[標準的ながん診療]     P[医療・福祉]     Q[専門的ながん診療]     R[生活習慣の改善・かかりつけ医等による指導]     S[がん検診]     T[発症リスクの低減]     U[連携]     V[連携]     W[連携]     X[連携]     Y[連携]     Z[連携]     AA[連携]     AB[連携]     AC[連携]     AD[連携]     AE[連携]     AF[連携]     AG[連携]     AH[連携]     AI[連携]     AJ[連携]     AK[連携]     AL[連携]     AM[連携]     AN[連携]     AO[連携]     AP[連携]     AQ[連携]     AR[連携]     AS[連携]     AT[連携]     AU[連携]     AV[連携]     AW[連携]     AX[連携]     AY[連携]     AZ[連携]     BA[連携]     BB[連携]     BC[連携]     BD[連携]     BE[連携]     BF[連携]     BG[連携]     BH[連携]     BI[連携]     BJ[連携]     BK[連携]     BL[連携]     BM[連携]     BN[連携]     BO[連携]     BP[連携]     BQ[連携]     BR[連携]     BS[連携]     BT[連携]     BU[連携]     BV[連携]     BW[連携]     BX[連携]     BY[連携]     BZ[連携]     CA[連携]     CB[連携]     CC[連携]     CD[連携]     CE[連携]     CF[連携]     CG[連携]     CH[連携]     CI[連携]     CJ[連携]     CK[連携]     CL[連携]     CM[連携]     CN[連携]     CO[連携]     CP[連携]     CQ[連携]     CR[連携]     CS[連携]     CT[連携]     CU[連携]     CV[連携]     CW[連携]     CX[連携]     CY[連携]     CZ[連携]     DA[連携]     DB[連携]     DC[連携]     DD[連携]     DE[連携]     DF[連携]     DG[連携]     DH[連携]     DI[連携]     DJ[連携]     DK[連携]     DL[連携]     DM[連携]     DN[連携]     DO[連携]     DP[連携]     DQ[連携]     DR[連携]     DS[連携]     DT[連携]     DU[連携]     DV[連携]     DW[連携]     DX[連携]     DY[連携]     DZ[連携]     EA[連携]     EB[連携]     EC[連携]     ED[連携]     EE[連携]     EF[連携]     EG[連携]     EH[連携]     EI[連携]     EJ[連携]     EK[連携]     EL[連携]     EM[連携]     EN[連携]     EO[連携]     EP[連携]     EQ[連携]     ER[連携]     ES[連携]     ET[連携]     EU[連携]     EV[連携]     EW[連携]     EX[連携]     EY[連携]     EZ[連携]     FA[連携]     FB[連携]     FC[連携]     FD[連携]     FE[連携]     FF[連携]     FG[連携]     FH[連携]     FI[連携]     FJ[連携]     FK[連携]     FL[連携]     FM[連携]     FN[連携]     FO[連携]     FP[連携]     FQ[連携]     FR[連携]     FS[連携]     FT[連携]     FU[連携]     FV[連携]     FW[連携]     FX[連携]     FY[連携]     FZ[連携]     GA[連携]     GB[連携]     GC[連携]     GD[連携]     GE[連携]     GF[連携]     GG[連携]     GH[連携]     GI[連携]     GJ[連携]     GK[連携]     GL[連携]     GM[連携]     GN[連携]     GO[連携]     GP[連携]     GQ[連携]     GR[連携]     GS[連携]     GT[連携]     GU[連携]     GV[連携]     GW[連携]     GX[連携]     GY[連携]     GZ[連携]     HA[連携]     HB[連携]     HC[連携]     HD[連携]     HE[連携]     HF[連携]     HG[連携]     HH[連携]     HI[連携]     HJ[連携]     HK[連携]     HL[連携]     HM[連携]     HN[連携]     HO[連携]     HP[連携]     HQ[連携]     HR[連携]     HS[連携]     HT[連携]     HU[連携]     HV[連携]     HW[連携]     HX[連携]     HY[連携]     HZ[連携]     IA[連携]     IB[連携]     IC[連携]     ID[連携]     IE[連携]     IF[連携]     IG[連携]     IH[連携]     II[連携]     IJ[連携]     IK[連携]     IL[連携]     IM[連携]     IN[連携]     IO[連携]     IP[連携]     IQ[連携]     IR[連携]     IS[連携]     IT[連携]     IU[連携]     IV[連携]     IW[連携]     IX[連携]     IY[連携]     IZ[連携]     JA[連携]     JB[連携]     JC[連携]     JD[連携]     JE[連携]     JF[連携]     JG[連携]     JH[連携]     JI[連携]     JJ[連携]     JK[連携]     JL[連携]     JM[連携]     JN[連携]     JO[連携]     JP[連携]     JQ[連携]     JR[連携]     JS[連携]     JT[連携]     JU[連携]     JV[連携]     JW[連携]     JX[連携]     JY[連携]     JZ[連携]     KA[連携]     KB[連携]     KC[連携]     KD[連携]     KE[連携]     KF[連携]     KG[連携]     KH[連携]     KI[連携]     KJ[連携]     KK[連携]     KL[連携]     KM[連携]     KN[連携]     KO[連携]     KP[連携]     KQ[連携]     KR[連携]     KS[連携]     KT[連携]     KU[連携]     KV[連携]     KW[連携]     KX[連携]     KY[連携]     KZ[連携]     LA[連携]     LB[連携]     LC[連携]     LD[連携]     LE[連携]     LF[連携]     LG[連携]     LH[連携]     LI[連携]     LJ[連携]     LK[連携]     LL[連携]     LM[連携]     LN[連携]     LO[連携]     LP[連携]     LQ[連携]     LR[連携]     LS[連携]     LT[連携]     LU[連携]     LV[連携]     LW[連携]     LX[連携]     LY[連携]     LZ[連携]     MA[連携]     MB[連携]     MC[連携]     MD[連携]     ME[連携]     MF[連携]     MG[連携]     MH[連携]     MI[連携]     MJ[連携]     MK[連携]     ML[連携]     MM[連携]     MN[連携]     MO[連携]     MP[連携]     MQ[連携]     MR[連携]     MS[連携]     MT[連携]     MU[連携]     MV[連携]     MW[連携]     MX[連携]     MY[連携]     MZ[連携]     NA[連携]     NB[連携]     NC[連携]     ND[連携]     NE[連携]     NF[連携]     NG[連携]     NH[連携]     NI[連携]     NJ[連携]     NK[連携]     NL[連携]     NM[連携]     NN[連携]     NO[連携]     NP[連携]     NQ[連携]     NR[連携]     NS[連携]     NT[連携]     NU[連携]     NV[連携]     NW[連携]     NX[連携]     NY[連携]     NZ[連携]     OA[連携]     OB[連携]     OC[連携]     OD[連携]     OE[連携]     OF[連携]     OG[連携]     OH[連携]     OI[連携]     OJ[連携]     OK[連携]     OL[連携]     OM[連携]     ON[連携]     OO[連携]     OP[連携]     OQ[連携]     OR[連携]     OS[連携]     OT[連携]     OU[連携]     OV[連携]     OW[連携]     OX[連携]     OY[連携]     OZ[連携]     PA[連携]     PB[連携]     PC[連携]     PD[連携]     PE[連携]     PF[連携]     PG[連携]     PH[連携]     PI[連携]     PJ[連携]     PK[連携]     PL[連携]     PM[連携]     PN[連携]     PO[連携]     PP[連携]     PQ[連携]     PR[連携]     PS[連携]     PT[連携]     PU[連携]     PV[連携]     PW[連携]     PX[連携]     PY[連携]     PZ[連携]     QA[連携]     QB[連携]     QC[連携]     QD[連携]     QE[連携]     QF[連携]     QG[連携]     QH[連携]     QI[連携]     QJ[連携]     QK[連携]     QL[連携]     QM[連携]     QN[連携]     QO[連携]     QP[連携]     QQ[連携]     QR[連携]     QS[連携]     QT[連携]     QU[連携]     QV[連携]     QW[連携]     QX[連携]     QY[連携]     QZ[連携]     RA[連携]     RB[連携]     RC[連携]     RD[連携]     RE[連携]     RF[連携]     RG[連携]     RH[連携]     RI[連携]     RJ[連携]     RK[連携]     RL[連携]     RM[連携]     RN[連携]     RO[連携]     RP[連携]     RQ[連携]     RR[連携]     RS[連携]     RT[連携]     RU[連携]     RV[連携]     RW[連携]     RX[連携]     RY[連携]     RZ[連携]     SA[連携]     SB[連携]     SC[連携]     SD[連携]     SE[連携]     SF[連携]     SG[連携]     SH[連携]     SI[連携]     SJ[連携]     SK[連携]     SL[連携]     SM[連携]     SN[連携]     SO[連携]     SP[連携]     SQ[連携]     SR[連携]     SS[連携]     ST[連携]     SU[連携]     SV[連携]     SW[連携]     SX[連携]     SY[連携]     SZ[連携]     TA[連携]     TB[連携]     TC[連携]     TD[連携]     TE[連携]     TF[連携]     TG[連携]     TH[連携]     TI[連携]     TJ[連携]     TK[連携]     TL[連携]     TM[連携]     TN[連携]     TO[連携]     TP[連携]     TQ[連携]     TR[連携]     TS[連携]     TT[連携]     TU[連携]     TV[連携]     TW[連携]     TX[連携]     TY[連携]     TZ[連携]     UA[連携]     UB[連携]     UC[連携]     UD[連携]     UE[連携]     UF[連携]     UG[連携]     UH[連携]     UI[連携]     UJ[連携]     UK[連携]     UL[連携]     UM[連携]     UN[連携]     UO[連携]     UP[連携]     UQ[連携]     UR[連携]     US[連携]     UT[連携]     UU[連携]     UV[連携]     UW[連携]     UX[連携]     UY[連携]     UZ[連携]     VA[連携]     VB[連携]     VC[連携]     VD[連携]     VE[連携]     VF[連携]     VG[連携]     VH[連携]     VI[連携]     VJ[連携]     VK[連携]     VL[連携]     VM[連携]     VN[連携]     VO[連携]     VP[連携]     VQ[連携]     VR[連携]     VS[連携]     VT[連携]     VU[連携]     VV[連携]     VW[連携]     VX[連携]     VY[連携]     VZ[連携]     WA[連携]     WB[連携]     WC[連携]     WD[連携]     WE[連携]     WF[連携]     WG[連携]     WH[連携]     WI[連携]     WJ[連携]     WK[連携]     WL[連携]     WM[連携]     WN[連携]     WO[連携]     WP[連携]     WQ[連携]     WR[連携]     WS[連携]     WT[連携]     WU[連携]     WV[連携]     WW[連携]     WX[連携]     WY[連携]     WZ[連携]     XA[連携]     XB[連携]     XC[連携]     XD[連携]     XE[連携]     XF[連携]     XG[連携]     XH[連携]     XI[連携]     XJ[連携]     XK[連携]     XL[連携]     XM[連携]     XN[連携]     XO[連携]     XP[連携]     XQ[連携]     XR[連携]     XS[連携]     XT[連携]     XU[連携]     XV[連携]     XW[連携]     XX[連携]     XY[連携]     XZ[連携]     YA[連携]     YB[連携]     YC[連携]     YD[連携]     YE[連携]     YF[連携]     YG[連携]     YH[連携]     YI[連携]     YJ[連携]     YK[連携]     YL[連携]     YM[連携]     YN[連携]     YO[連携]     YP[連携]     YQ[連携]     YR[連携]     YS[連携]     YT[連携]     YU[連携]     YV[連携]     YW[連携]     YX[連携]     YY[連携]     YZ[連携]     ZA[連携]     ZB[連携]     ZC[連携]     ZD[連携]     ZE[連携]     ZF[連携]     ZG[連携]     ZH[連携]     ZI[連携]     ZJ[連携]     ZK[連携]     ZL[連携]     ZM[連携]     ZN[連携]     ZO[連携]     ZP[連携]     ZQ[連携]     ZR[連携]     ZS[連携]     ZT[連携]     ZU[連携]     ZV[連携]     ZW[連携]     ZX[連携]     ZY[連携]     ZZ[連携]     </pre>		

### 3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

分野	取り組むべき主な施策
<p>(3)がん患者等就労を含めた社会的な問題への対策 (サバイバーシップ支援)</p>	<p><b>【就労支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職場でのがんの正しい知識の普及</li> <li>○ 相談支援センター等の相談窓口において、求職者に対し、就労と生活支援を含む総合的な就職支援</li> <li>○ がん患者の就労支援のため、関係機関と連携しながら企業への周知</li> <li>○ がん患者が働きながら治療・療養できる環境の整備</li> </ul> <p><b>【アピアランスケア】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関・団体等と協力し、がん患者・経験者の支援助成事業を継続</li> <li>○ 支援事業の広報を実施</li> <li>○ がん相談支援センターを中心とした相談支援の実施</li> </ul> <p><b>【がん診療後の自殺対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん患者の自殺リスクやその背景等の実態把握及び対応について検討</li> </ul> <p><b>【その他の社会的な問題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がんに対する「偏見」の払拭や県民全体に対する健康についての啓発につながるよう、学校における教育の他、民間団体や患者団体等の協力を得ながら、がんに関する正しい知識を得る機会を設ける</li> <li>○ 的確な時期に治療の選択ができるよう、相談支援及び情報提供のあり方や治療に伴う障がい、精神負担等にも配慮した相談支援体制の構築について検討</li> </ul>
<p>(4)ライフステージに応じた療養環境への支援</p>	<p><b>【小児・AYA世代(思春期世代と若年成人世代)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小児慢性特定疾病対策事業により医療費の自己負担分を補助し医療費の負担軽減(再掲)</li> <li>○ 療養生活に関する相談支援と家族同士が情報交換や交流できる機会を提供(再掲)</li> <li>○ 小児がん、AYA世代のがん患者の教育的ニーズに対応するため、教育相談機関を広く周知</li> <li>○ 在宅療養中においても適切な教育を受けることのできる環境の整備</li> <li>○ 退院後の小・中学校での受け入れ体制等の教育環境の整備に向けて、復学時・復学後の病弱特別支援学校による相談支援の充実</li> <li>○ 関係機関と連携し、入院中の高校生に対する教育支援体制のさらなる整備</li> <li>○ 小児がん経験者や治療を継続している新規学卒者に対する進路アドバイザーを活用したきめ細かな就労支援</li> <li>○ 治療に伴う生殖機能等への影響など、世代に応じた問題について、医療従事者が患者に対して治療前に正確な情報提供を行い、必要に応じて、適切な生殖医療を専門とする施設に紹介できるための体制の構築</li> </ul> <p><b>【高齢者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢のがん患者への支援充実のため、地域の医療機関やかかりつけ医、在宅療養支援診療所、訪問看護事業所等の医療・介護を担う機関、関係団体、地方公共団体と連携し、患者や家族を支える体制の整備を支援</li> <li>○ 国が策定する高齢のがん患者の意思決定の支援に関する診療ガイドラインに基づき、高齢のがん患者に対する支援体制のあり方について検討</li> </ul>



# 4.これらを支える基盤の整備

分野	取り組むべき主な施策
<p>(1)全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がんゲノム医療中核拠点病院と連携して、がんゲノム医療を提供できる体制の整備について検討を進める</li> <li>○ 国に対して、がん研究の一層の推進について要請</li> </ul>
<p>(2)人材育成の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん専門の医師、看護師、薬剤師等の育成を行う福島県立医科大学と連携し、専門医の県内定着に努める</li> <li>○ がん診療に携わる専門性の高い認定看護師の資格取得の支援</li> <li>○ がんリハビリテーションの内容及び処置を熟知した人材を養成する機会を創出</li> <li>○ 細胞診検査の内容及び細胞検査士の資格を取得した人材を養成する機会を創出</li> <li>○ 診療放射線技師を養成する機会を創出</li> </ul> <div style="text-align: right;">  </div>
<p>(3)がん教育及びがんに関する知識の普及啓発</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2;"> <p><b>【がん教育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん教育が学校の教育計画の中に位置付けられ、年間の指導計画の中で横断的に他教科との関連を持たせながら効果的に進められるよう支援</li> <li>○ 教職員のがん教育の研修実施</li> <li>○ がん教育外部講師相談窓口事業を継続しがん教育を推進</li> <li>○ 教育効果の確認や事業の適切さを評価するため、推進委員会等を組織し、評価を活かしてがん教育を推進</li> <li>○ 県内各地区で学校医やがん医療に携わる医師、がん患者・経験者等の外部講師を活用しながらがん教育が実施できるよう、関係団体の協力のもと県内のがん教育協力体制を整備</li> <li>○ がん教育に携わる外部講師の研修の機会を設け、がん教育を推進</li> </ul> <p><b>【がんに関する知識の普及啓発】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がんに関する知識の普及啓発活動をさらに進め、がん予防や早期発見につながる行動を促し、自分や身近な人ががんに罹患しても、それを正しく理解し、向かい合うことを促す</li> <li>○ がんを正しく理解し向き合うために、患者が自分の病状、治療等を学ぶことのできる環境の整備</li> <li>○ 家族が患者の病状(正しい理解)、患者の心の変化、患者を支える方法、患者の家族自身も心身のケアが必要であること等を学べる環境の整備</li> <li>○ 民間団体によって実施されている普及啓発活動を支援</li> <li>○ 拠点病院等医療機関の相談支援・情報提供機能を強化し、民間団体によって実施されている相談支援・情報提供活動を支援</li> </ul> </div> </div>
<p>(4)がん登録利活用の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各医療機関の全国がん登録担当者の知識や習熟度の向上を図る。</li> <li>○ 全国がん登録によって得られた情報の利活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんリスクやがん予防等についての研究の進展に資する</li> <li>・がん対策及び地域の実情に応じた施策の実施</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>(5)デジタル化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん医療の質の向上と分かりやすい情報提供等を推進するため、「がん予防」「がん医療」「がんとの共生」の各分野において、ICTやAIを含むデジタル技術の活用による医療のデータ化とその利活用の推進について検討</li> <li>○ 患者やその家族等のアクセス向上や、医療・福祉・保健サービスの効率的・効果的な提供の観点から、がん予防・医療に効果的なデジタル化の推進を検討</li> </ul>